

<インスリン治療例>

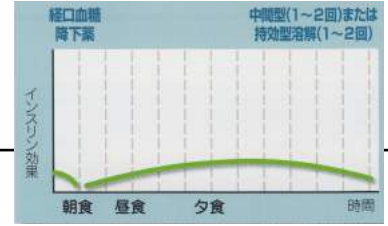
インスリン欠乏、自覚症状あり、ケトーシスなど、早急に血糖を下げなくてはならない状態

→ 原則入院が必要

経口血糖降下薬では、血糖コントロールが目標値に到達しない場合

- ・ 頻回注射が困難
- ・ 注射を本人ができない
- ・ 高齢
- ・ 入院できない

BO T (Basal Supported Oral Therapy)
— 持効型 + 経口血糖降下薬 —



① **インスリングラルギンBS**
(ランタスの後続品)

② **トレシーバ**
(作用持続時間が長い)

- ・ 血糖コントロール不良
- ・ 認知症、打ち忘れ、本人以外が注射
- ・ 隔日投与がやむを得ない

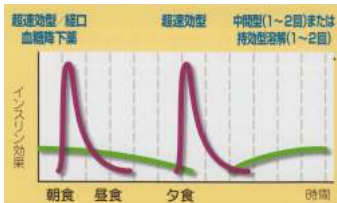
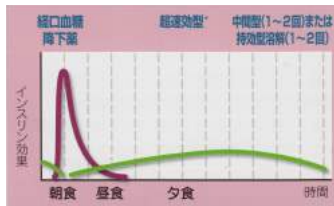
- ・ HbA1cが目標値に到達しない
- ・ 食後血糖が高値

- ・ 2種類もしくは頻回投与が**可能**
- ・ **低血糖**に適切に対応できる

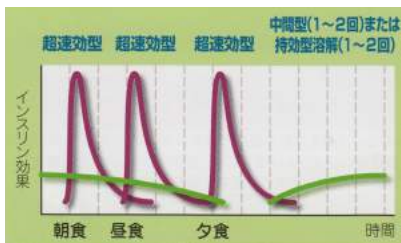
- ・ 2種類もしくは頻回投与が**困難**
- ・ **高齢**

超速効型を追加

持効型 + **ヒューマログ**

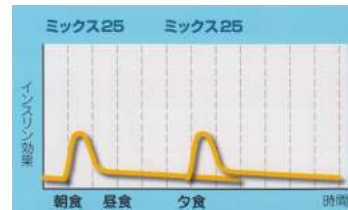


強化療法



混合型へ切り替え

ライゾデグ or
ヒューマログミックス25



- ・ HbA1cが目標値に到達しない
- ・ 夕食前血糖が高値

超速効型を追加

混合型 + **ヒューマログ**

